

研修会 事例報告

事例報告 (1)

メディカルオンラインの利用状況

塚越 貴子

I. はじめに

前橋赤十字病院で2006年6月から導入した株式会社メテオの全文データベース「メディカルオンライン」の利用状況について報告する。

II. 導入前

一ヶ月間の無料トライアルを実施した。利用統計は利用雑誌131誌、利用回数766回であった。利用が多かった雑誌は「ICUとCCU」「Progress in Medicine」「医科器械学」が上位3誌である。トライアル開始前の利用案内に違法行為について触れていなかったため、不正ダウンロードが発覚し、警告文書を配布、トライアルを打ち切った。医師だけでなくコメディカルの利用も高く、正式導入を望む声が多数寄せられたので契約となった。

III. 導入後

1年間の利用状況は利用雑誌234誌、利用回数1673回で、利用の高かったのは総合診療部の574回、図書室、消化器病センター(外科)の順であった。不正ダウンロードの防止の為、各診療科で管理するようにID・パスワードの認証プランとした。利用雑誌は「癌と化学療法」「Progress in Medicine」「医学のあゆみ」の順に多かった。図書室からの利用は検索データベースからのリンクがほとんどであった。

IV. まとめ

導入当初、懸念していた利用者の減少、相互貸借業務の目立った減少はなかった。引き続き利用状況を調査し、経済的影響、司書の業務量、図書室利用率の変化などの推移を分析評価し、管理運営に役立て、今まで以上に図書室をPRするよう努力したい。

TUKAGOSHI Takako

前橋赤十字病院 図書室

mrc-jrc@jcom.home.ne.jp

事例報告 (2)

電子媒体資料利用に関する意識調査

渡辺 幸代

【目的】雑誌・図書の電子化が進み、インターネット利用が日常化してきた現在、電子媒体資料(以下EJ等という)には、パッケージ型のEJ等が多数・多種ある。臨床医療の現場の利用者が満足する有用なEJ等を選定するための情報を得る。

【方法】EJ等利用モニターを募集し、モニター参加者にはID・パスワードと共に、アンケート用紙を渡した。設問は、全体のインターフェース、検索のしやすさ、マニュアルの利用、検索結果の満足度、Full Textへのアクセススピード、利用したい雑誌の収載度、今後そのモニターEJ等を利用したいか、希望・自由記入欄とした。また、新入職員オリエンテーション時に、医学教育機関や他施設でのEJ等について、認知度・利用度を質問した。

【結果】EJ等モニターの回答では、インターフェースに関しては、ほぼ良好な結果であったが、利用したい雑誌の収載度、タイムラグでは不満足の回答もあった。テキストはPDFの希望が多数あった。新入職員へのアンケートでは、EJ等への認知度は低かった。

【考察】病院図書室担当者の役割は、予算の費用対効果を考え、利用者のニーズに合った電子媒体資料を、長所・短所も含めさまざまな角度からの情報を図書委員会に提供することである。また、院内におけるEJ等利用環境の整備や、利用者への資料の説明、検索指導などが必要と考えられる。

WATANABE Sachiyo

日本赤十字社医療センター 図書室

library@med.jrc.or.jp